

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業支援課  
 担当名：新規参入支援担当  
 内線：4052

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P24	明日の農業担い手育成塾推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	農業後継者育成対策費		
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	なし			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1201 農業の担い手育成と生産基盤の強化	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-4		
<b>1 事業の概要</b> 新規就農希望者の円滑な就農を促進するため、就農相談窓口の設置や担い手入門研修及び明日の農業担い手育成塾の設置運営等を支援する。  ア 就農相談窓口整備推進事業 △ 2千円 イ 明日の農業担い手育成塾推進事業 △400千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 就農相談窓口整備推進事業 相談窓口設置数 11か所 5,850千円 イ 明日の農業担い手育成塾推進事業 塾設置地域数 26地域 10,520千円 入門研修設置 10地域  (2) 事業計画 ア 就農相談窓口の設置、就農支援セミナー・休日就農相談会の開催 農林振興センター等に就農相談窓口を設置し、新規就農を希望する者の支援を行う。 新規就農を目指す者を対象に、セミナーや相談会を開催する。 イ 明日の農業担い手育成塾及び担い手入門研修の設置 明日の農業担い手育成塾を設置し、就農希望地で実践的な研修を行い就農を支援する。 担い手入門研修を設置し、指導農家の元で農業基礎知識の習得や自己分析を支援する。  (3) 事業効果 新規就農者の確保・育成 新規就農者数 平成30年 310人(8月末集計)、令和元年 321人(8月末集計)、令和2年 330人(8月末集計)、 令和3年 330人(8月末集計)、令和4年 330人(計画)、令和5年 330人(計画) 明日の農業担い手育成塾の塾生数 平成30年度 32人(3月末集計)、令和元年度 29人(3月末集計)、令和2年度 32人(3月末集計)、 令和3年度 43人(3月末集計)、令和4年度 46人(9月末集計)、令和5年度 42人(計画) 明日の農業担い手育成塾担い手入門研修の塾生数 令和3年度 3人(3月末集計)、令和4年度 4人(9月末集計)、令和5年度 6人(計画)						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> ア (事業負担なし) イ (県3/4) 事業者1/4										
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(単位費用) (区分)農業行政費 (細目)活性化推進特例費 (細節)活性化推進特例費 特別交付税措置(移住・定住に要する経費)										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×5.3人=50,350千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金								
決定額	△402							△402	16,370	
現計額	16,772	5,590						11,182		

## 事業内訳書

事業名	明日の農業担い手育成塾推進事業		
単位事業名	就農相談窓口整備推進事業	予算額	△ 2千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△2	—	
合計	△2	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△2	—	WEB会議による印刷製本費の減 △2千円
合計	△2	—	

単位事業名	明日の農業担い手育成塾推進事業	予算額	△ 400千円
-------	-----------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△400	—	
合計	△400	—	

単位事業名	明日の農業担い手育成塾推進事業	予算額	△ 400千円
-------	-----------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△10	—	事業実施主体との打ち合わせの減 △10千円
需用費	△8	—	WEB会議推進による消耗品費の減 △6千円 事業実施主体との打ち合わせの減による燃料費の減 △2千円
役務費	△12	—	WEBパンフレット推進による通信運搬費の減 △12千円
負担金、補助及び交付金	△370	—	事業実施主体の減による補助金の減 △370千円
合計	△400	—	